

授業科目	心理学				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	水貝 洵子										
授業概要	心理学は、「人がなぜそのようにふるまうのか」といった心の仕組みを解き明かす学問である。本講義では、誰もがもっているのによくわからない”心”について解説する。										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	心理学の基本的な知識を理解し、説明することができる。 日常生活で経験する様々な現象に関心を持ち、心理学の知識と結びつけようと努力することができる。										
理想的 レベル	心理学の基本的な知識を理解し、現実場面での様々な問題を考えるときに応用することができる。 心理学の考え方や理論について、授業で学んだ内容を手がかりとして、さらに調べ、知識を広げることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	100%				小レポート、最終レポート						
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	CH10401J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
講義内容の復習をする。										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション 心理学とは何かについての概説と授業の進め方について（担当：杉本有紗）										
第2回	感覚 感覚の働き、性質について解説する。（担当：杉本有紗）										
第3回	知覚 注意の働き、知覚の働きについて解説する。（担当：杉本有紗）										
第4回	記憶 記憶の過程、感覚記憶、短期記憶、長期記憶について解説する。（担当：杉本有紗）										

第5回	学習 新しい行動を身につけて環境に適応するための「学習」について解説する。(担当：杉本有紗)
第6回	動機づけ 生理的動機づけ、社会的動機づけについて解説する。(担当：杉本有紗)
第7回	情動 情動について解説する。(担当：杉本有紗)
第8回	ストレスとストレスコーピング ストレス、ストレスコーピングについて解説する。(担当：杉本有紗)
第9回	対人認知 対人認知の過程について解説する。(担当：水貝洵子)
第10回	社会的態度 態度形成、態度変容について解説する。(担当：水貝洵子)
第11回	対人コミュニケーション 言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションについて解説する。(担当：水貝洵子)
第12回	対人行動 自己開示、自己呈示など人に向けての行動について解説する。(担当：水貝洵子)
第13回	人間関係 人間関係の成立、維持、発展について解説する。(担当：水貝洵子)
第14回	集団と個人 集団による個人への影響、個人による集団への影響について解説する。(担当：水貝洵子)
第15回	まとめ これまでの授業を振り返る。(担当：水貝洵子)
テキスト	指定しない
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	『エッセンシャル心理学』長谷川千洋編 ナカニシヤ出版 『はじめて出会う 心理学』長谷川寿一、東條正城、大島尚、丹野義彦、廣中直行著 有斐閣 『図説 社会心理学入門』齊藤勇編著 誠信書房 その他、適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。
学生へのメッセージ・コメント	日常場面での体験と、授業で学んだ内容を結び付けてみてください。心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。

